

鵜住居地区まちづくり協議会 議事要旨

記

- 日時 平成28年3月27日(日)18時00分～20時00分
- 場所 南三陸国道事務所 2F 大会議室
- 次第
 1. 挨拶
 2. 本日の主旨とこれまでのふりかえり
 3. 工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ① 鵜住居地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
 - ② ブロックごとの宅地引渡しスケジュールについて
 - ③ 造成工事から住宅建築までの流れについて
 - ④ 住宅再建に係る補助制度について
 - ⑤ 下水道受益者負担金及び下水道使用料について
 - ⑥ 鵜住居地区の復興公営住宅について
 - ⑦ 鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について
 4. お知らせ(盛岡財務事務所)
 5. 意見交換

最近釜石市民になり、初めてこのような会に出席した。工事はいくらでも早くやって欲しいと思うが、そのために工事が雑にならないように進めて欲しい。

→ ご意見ありがとうございます。そうならないよう進めて参ります。

①18 ページの赤丸が、今回見直したスケジュールということによろしいか？

②給排水については、予定に問題がないか？

→ ①その通りでございます。

②今回スケジュールを調整させていただいた地域の中で、予定より若干遅れが出てくる箇所もあります。きちんとした工程が出ましたら、また皆様に周知させていただきます。

工事スケジュールが遅れる地域について、そこの地権者へ市は事前に説明を行っているのか？

→ 個別に事前説明は行っておりません。今後は住宅再建に向けて職員を配置いたします。どのように解決していくのかを含めて、対応してまいりたいと思います。しっかりフォローしていきますので、よろしくお願いします。

前の質問に関連して、地権者への個別対応は具体的にいつから可能か？

→ 仮設住宅や住宅再建の補助金に関しては、生活支援室ですぐに対応可能です。明日にでもお電話等でご連絡ください。

①被災時は鶴住居に住んでいなかったのだが、今後鶴住居に家を建てたい場合も補助金の適用はできるのか？

②水門についてだが、操作は遠隔方法には出来ないのか？

→ ①そのケースでは対象外となります。国の判断基準によると、あくまでも震災時にそこに居住実態があった人を対象としています。震災直後にもそのような問い合わせは多かったです。例えば東京に住んでいながら将来のために鶴住居へ家を建てていたが、それが津波で流されてしまったというケースもありましたが、対象外でした。

②現在遠隔操作の方法も検討しております。

鵜住居地区の消防屯所についての質問だが、救急車等も配備できる屯所かどうか？

→ (市長回答) : 鵜住居の消防屯所については、屯所自体も設置するかどうかを含めて調整している段階です。現在消防については、震災後釜石地区と大槌地区が一体的な運営を行ってきました。今後は新たに釜石消防署と大槌消防署を作り、2 署体制を目標に進めております。

このような運営方針というところもあり、釜石市の一存では決定出来ません。また、消防署員の数も決して多いわけではなく、特定の場所に消防車の定期的な配備をする事が難しいといった現状もあります。

但しこの件については現在協議中であり、住民の希望に沿った体制を整えられるよう、今後も働きかけていくつもりです。よろしくお願いいたします。

①鵜住居の国道を仮設から本道に切り替える時期は具体的にいつになるか？

②今年のトライアスロンで使用する道路は、旧道かそれとも新道か？

→ ①道路の切り替えに関しては 2016 年 9 月になる予定です。歩道の工事はこれよりももう少し後になります。

②間に合うように工事を進めて参りましたが、区画整理全体の中で土地の引渡し等の問題もあり、現時点で 8 月に出来るという事は断言できません。ご理解いただきたいと思ひます。

鵜住居には買い物ができる場所がない。復興住宅が出来るのだから、商工についても考えて欲しい。

→ 市役所庁内では、商工についても議論を進めております。お店がないと町が成り立たない事は十分に承知しております。

商工労政課と先日お話した段階では、詳細はお話できませんが誘致に向けて既に業者へアプローチをしている最中との事です。もうしばらくお待ちください。

(市長挨拶) いろいろとご意見をいただき、本当にありがとうございました。今回のご報告については、道路が遅れると結果としていろいろなところに支障が出てくるという内容でした。しかしながら三陸国道事務所が悪いということではなくて、いろいろな調整の中で結果そうなっているということでございます。何とかして皆さんの期待に応えられるように、また引き続き我々も頑張っていきますのでひとつよろしくお願ひしたいと思ひます

宅地の引渡しにつきましては、以前からお伝えしている通り 3 ヶ月前にはご連絡いたします。また、先行して家を建てたいという方も、インフラが全て揃ってからという方も個人のご判断で良いと考えております。市としては、家が建っていくことで町が作られていくわけですから、どんどん建てていただきたいと思ひしております。

今までは、まちづくり協議会あるいは地権者連絡会があって、そこで皆さんと合意いただけたら次の段階に進んでおりました。現在はだいたい基本的なまちづくりのかたちは概ねご理解をい

ただいていると思います。今後は工事のスケジュールだけなので、これについてはまちづくり協議会を待たずスケジュール管理表という形で隔月に広報かまいしへ折り込みをし、皆様へ配布いたします。まずは4月に一回目をお送りします。

いよいよ本格的に宅地の引渡しと家を建てる、そういう段階に入ってきましたので、どうぞご理解をいただきながら、1軒でも2軒でも早く鶯住居のほうに戻っていただければありがたいと思います。

それから、本年度をもって退任する方々、本当にありがとうございました。また、新任の方もよろしく願いいたします。

今日は長時間にわたりましていろいろとご意見をいただきまして誠にありがとうございました。皆様のご意見をまた肝に銘じながら新年度対応させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。今日は本当にありがとうございました。

(閉会 20:00)

以上